



花に遊ぶアゲハ蝶

第11回 通常総会特集号

法人会は「企業の発展を支援し、地域の振興に寄与する経営者の団体」!

会員増強運動実施中

会員の皆様には、是非、1社につき新規会員1社獲得を目標に
あなたのお仲間企業を会員に!

消費税期限内納付
法人会 一声運動

新潟市中央区西堀通
3番町258番地24
にいがた法人会館
電話 (223)-1242
FAX (225)-5699



公益社団法人 新潟法人会

第11回通常総会開催

去る6月1日(水)午後2時より「新潟グランドホテル」において、第11回通常総会が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策を万全にして講演会も懇親会も久しぶりに開催され、多くの会員の皆様が参加されました。



永塚会長挨拶

第11回通常総会の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

まずもっては、本日はお忙しいところ多数の会員の皆様にご参加いただき、かつ盛大に総会を開催できますことを嬉しく思っております。厚くお礼を申し上げます。

また、ご来賓と致しまして、新潟税務署からは小林署長をはじめ幹部の方々、新潟県知事代理として総務部税務課の細谷課長、新潟

市長代理として新潟市財務部の落田税務監、関東信越税理士会新潟支部からは土田支部長、そして福利厚生制度委託3社の支社長・支店長からもご出席をいただいております。

皆様には、日ごろから新潟法人会の事業運営に対しまして、深いご理解とご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。

ご存知のように、法人会は税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、かつ地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体であります。引き続き、税務行政の円滑な執行に寄与し、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目指してまいります。

コロナ禍の中で、政治も経済も、さらには国際情勢も先行き不透明な環境におかれておりますが、こうした環境下でも、法人会は、目指す方向に向かって引き続き事業活動に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

お蔭様で、令和3年度の事業活動も、会員の皆様および関係諸団体のご支援ご協力により進めることができました。

大切な事業活動の一つである研

修活動につきましては、講師を税務署ならびに弁護士・税理士さん等の専門家をお願いして、できる限り計画通りに実施するよう努めてまいりました。

残念ながら、今年1月くらいからは、オミクロン株の感染拡大により、研修会・講演会などを中止せざるおえない状況になっていました。

皆様との親交を深める懇親会も開催が難しい状況が続いてきましたが、本日は開催予定でございました。大変楽しみにしております。

令和4年度も、会員の皆様のお役に立つような運営を進めていきたいと考えておりますので、法人会の事業活動に対しまして、より一層のご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、ご出席の皆様のご健勝と会員企業の益々のご発展を祈念いたしまして開会の挨拶といたします。

本日はよろしくお願い申し上げます。



議 事

- 【決議事項】
 第1号議案 令和3年度決算報告承認の件
 第2号議案 役員補選案(承認の件)
 第3号議案 その他
 【報告事項】
 (1) 理事会承認事項
 令和3年度事業報告
 令和4年度事業計画
 令和4年度収支予算
 その他
 (2) その他

全法連・県連功労賞等受賞者

全国法人会総連台功労者表彰

該当者なし

新潟県法人会連合会功労者表彰

(単位会役員関係) 該当者なし

(事務局専従役員関係)

小林みゆき

令和3年度事業報告

〔概況〕

令和3年度の事業につきまして、当初は、新型コロナウイルスの感染症対策を徹底して、可能な限り、計画に沿って事業を展開しましたが、オミクロン株の感染拡大により令和4年1月からの事業が開催中止となるなど大きな影響が発生しました。

〔公益関係〕

税を巡る諸環境の整備改善事業の税に関する研修・セミナー事業として実施回数32回、参加人数1,655名で、いずれも前年比と大幅に増加しましたが、コロナ以前にはまだ及びません。1月以降のオミクロン株による中止がありました。インボイス制度に関する研修会等を積極的に開催したことに、より相応の実施状況となりました。

租税教育活動では、次世代を担う児童や生徒の皆さんに、税の重要性を正しく理解し関心を持ってもらうため、税務署、税理士会等と連携して租税教育活動に積極的に取り組まれました。

租税教室は、青年部会が中心と



なり、市内の小学校を訪問し「租税教室」を実施しております。令和3年度はGIGAスクール設備を有効に活用し、小学校数9校で16コマ、689名の児童を対象としました。新潟県青年部会の租税教室の取組みは、昨年11月の「全国青年の集い・佐賀大会」において発表され、優秀賞を獲得しました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響があり、また、教育カリキュラムの変更に対する開催時期もまだ調整中だったことから、今は増加していくと思われれます。

「税に関する絵はがきコンクール」は女性部会が中心となって実施しております。租税教室等で学んだ知識、感想などを絵はがきに書くことでより理解を深めてもらうことが目的です。令和3年度は13校から386作品の応募がありました。前年より参加校も作品数も増加しています。応募作品の中から、金賞、銀賞、銅賞、優秀賞および税務署長賞を選定し表彰しました。

また、優秀作品については、確定申告の期限まで朱鷺メッセの確定申告会場で、2月8日から18日までNEXT21の1階ロビーに掲示しました。

「税についての作文」事業には、新潟税務署管内税務団体協議会の一員として参加しています。中学生および高校生の「税についての作文」事業の応募作品の中から、それぞれ1編ずつに対して新潟法人会の会長賞を授与して表彰し、令和4年2月発行の会報148号に掲載させていただきました。

税制改正提言活動では、令和4年度税制改正重要事項を県連と合同で作成し、全法連へ提出しております。要望実現のための提言活動の展開として、令和3年11月4日に管内選出の衆参国会議員、知事、県議会議長、新潟市長、市議会議長へ「令和4年度税制改正に関する提言」を提出しました。

地域の経済社会環境の整備・改善等を図るための事業として、経営支援に関する研修会を多彩なテーマと講師により、13回を開催し、総勢759名の参加がありました。社会貢献活動では、青年部会で

税金クイズならびに献血活動を実施しました。令和3年10月23日(土)に、プロバスケットボールBリーグの新潟アルビレックスの試合会場で実施し、約136名がクイズに参加し、献血活動には57名が参加し53名の方から献血していただきました。

〔共益関係〕

組織の強化・充実のための会員増強に関しては、会員の減少に歯止めをかけるべく、「前年以上の会員数確保」を基本方針として、「役員一人1社獲得運動」など推進してきましたが、後継者問題や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により廃業や経費削減を理由に退会が大幅に増えました。

昨年12月末では2,953社となり、3,000社割れとなっていました。さらに3月末では2,824社となり、基盤確保のためにも会員増強が必要不可欠ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

福利厚生事業では、令和3年度は、福利厚生制度創設50周年キャンペーンを積極的に推進し、新型コロナウイルス感染症拡大による制限はありましたが、福利厚生制度委託保険3社との連携により、相応の成果を上げることができました。財政基盤維持確保のためにも、さらなる皆様のご協力をお願いします。会員支援事業としては、「優良経理担当職員表彰式」を10月11日にANAクラウンプラザホテル新潟で開催し、24社30名様が表彰されました。

〔管理関係〕

諸会議等の開催において特記事



項として次の3点が挙げられます。

①第10回通常総会は役員改選期でした。

②青年部会が「法人会全国青年の集い・佐賀大会」の租税教室の発表で優秀賞を受賞されました。

③「全国女性フォーラム新潟大会」が朱鷺メッセで無事開催されました。ご協力いただきました女性部会の皆様とご支援いただいた単位会の方々に心から感謝申し上げます。

記念講演会

作家・経済ジャーナリスト

渋谷 和宏氏

第11回通常総会終了後に、経済ジャーナリストとして、日本テレビ系列の日曜日朝7時30分からの「シューイチ」にも出演されている渋谷和宏氏に記念講演をお願いしました。

コロナ禍においても、ビジネスの勝ち組として史上最高益を計上したソニーなどのお話や、コロナ後に勝ち組となる業界・業種のお話など、非常に興味深い内容を、とてもわかり



新潟法人会 第11回通常総会



易く講演していただきました。

渋谷氏は経済ジャーナリストとして、コロナ禍でのニュースやトレンドを取り上げて経済学の基本を解説する「激変する世界の未来を予測する100年に1度の経済学」を執筆されています。本書では、コロナ禍で起きたさまざまな経済学のモノサシで分析・解析し、それをもとにコロナ禍からコロナ後にかけてどう変わるかなども予測し紹介されています。大いに皆様の参考になると推察致します。



令和4年度 事業計画

I 活動の基本方針

公益社団法人の新潟法人会は、「法人会は、税知識の普及・納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与すると共に、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的とします。」と掲げている。

事業の実施にあたっては、法人会の原点である「税」に関する活動に軸足を置きながら、組織・財政基盤の強化を図るために会員増強に注力するとともに、地域の活性化にも配慮しつつ以下に掲げる諸施策に取り組み方針である。

II 主な事業計画

1. 税を巡る諸環境の整備・改善等を図る事業

(1) **税に関する研修・セミナー事業**
税知識の一層の普及・啓発に努めることとし、会員を含めた多数の市民を対象に、税務に係る幅広い知識の普及、税務コンプライアンスの向上、及び経営財政を取り巻く諸問題の改善を目的とした研修会やセミナーを開催する。

では、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により慎重に検討の上、開催する場合には可能な限り対策を徹底し開催することとする。

また、電子帳簿保存法の理解、インボイス制度の定着、電子申告(e-Tax)の普及などに向けて、関連のセミナー・研修会の開催に注力する。

(2) 講演会事業

政治・経済学者、ジャーナリスト等様々な視点から、税制に関する考え方を聞くことで、「税」を身近に感じることができるよう、広く参加を募り社会情勢等に即したテーマの講演会を開催する。

(3) 租税教育事業

次世代を担う児童・生徒に税の仕組み等を理解してもらうため、租税教育の充実に努める。これに資するため、新潟税務署管内の小学校を対象に、学習指導要領の変更に対応しながら、青年部会による「租税教室」、女性部会による「税に関する絵はがきコンクール」を継続して推進する。

(4) 税の広報事業

改正税法、電子帳簿保存法、税務申告の情報などの早期周知及び電子申告(e-Tax)の普及に

資するため、PR活動を行う。

このため、ホームページや広報誌に必要情報を掲載する。広報誌は、公共施設や金融機関窓口に配置することで、多くの市民に税務情報の提供を図る。

また、イベント会場での税に関するクイズの実施、日本の税制に関する冊子の配布などにより、市民に税制への関心を持ってもらう事業を実施する。

(5) 税の調査研究(支援を含む)及び社会への提言事業

財政再建と持続可能な社会保障制度を構築するため、社会保障と税の一体改革に本腰をいれて取り組むことが求められている。さらには、少子高齢化やグローバル化の進展、新型コロナウイルス感染症の影響などの社会構造の変化に対応し、諸課題に広く対処していくことが必要である。

これらを踏まえ、地域の担い手である中小企業の活性化に資する税制をはじめ、税のオピニオンリーダーとして建設的な提言を行っていく。

この事業として、会員各社の税に対する意見・要望を収集し、その意見・要望をもとに、税制改正要望を取りまとめ、国会、地方議会、関係官庁に向けて提言してい

く活動を県連・全法連と連携して進めていく。

(6) 企業の税務コンプライアンスの向上施策

企業の内部統制の強化や経理水準の向上は、企業の成長や税務リスクの軽減のために重要であることから、国税当局等と協力し、研修会・セミナー等の開催時に「自主点検チェックシート」を活用し、税務コンプライアンス向上に積極的に取り組んでいく。

(7) e-Taxの普及及び定着についての取り組み

納税者の利便性向上、税務行政の効率化を推進するため、会員企業に対し、添付書類も含めたe-Tax利用を周知する。

また、会員企業は、添付書類も含めてe-Taxにより申告書を提出いただくよう、関与税理士に働き掛けを行う。

2. 地域の経済社会環境の整備・改善等を図る事業

(1) 講演会・セミナーの開催事業

地域社会の活性化等を目的に、会員及び市民を対象に、政治経済情報、健康情報、福祉の情報等の講演会や実務セミナーを開催する。講師については、行政関係者、

医師、経営実務コンサルタント、芸術家等、幅広い分野の専門家の中から選定する。

(2) 地域の福祉問題や環境問題などの改善に資する事業

会員および市民からチャリティでタオル等を寄付して頂き、福祉施設・医療施設の現場で利用してもらうことや、各地域に花の種や球根を配付し環境美化活動に取り組むことで、福祉問題や環境問題の改善への貢献を図る。

また、日本赤十字新潟支社と共同で、社会貢献活動の一環として、スポーツイベント会場等を利用して、献血活動を展開する。

3. 会員支援のための親睦・交流及び福利厚生に資する事業

(1) 組織の強化・充実

法人会活動を充実させるためには、組織・基盤強化が重要であることから、会員数を維持・増加を図るための諸施策を実施する。

「会員増強月間」を設定し、役員率先した参画や指導により新規会員募集の推進を行うとともに、退会防止策を講じる等、より効果的な対応策を展開する。

法人会事務局のガバナンス強化、職員の資質向上を目的として、地域部会事務担当者会議を開催する。

(2) 広報活動の充実

会報の年3回発刊などにより、法人会の知名度アップ・活動内容の周知を図り、会員増強等に資する広報活動に取り組む。

ポスター・テレビCM・新聞広告によるPRを行うほか、ホームページの充実、パブリシティ活用等の広報活動を展開する。

(3) 女性部会・青年部会の充実

① 「女性部会のあり方(指針)」に沿って、女性部会員の資質向上と法人会活動の充実・活性化に努める。

税の啓発活動としての小学生対象の「税に関する絵はがきコンクール」や社会貢献活動を積極的に進める。

② 青年部会の活動の大きな柱である「租税教育活動」、「献血活動」及び「部会員増強運動」については、目標数値を設定し、引き続き積極的な展開を図る。

また、青年部会の部会員を対象として実施する全法連のアンケート調査システムの普及・活用に努める。

(4) 法人会会員の福利厚生の向上に資することを目的とする事業

会員企業の福利厚生の向上に資

するため、また法人会の財政基盤の一層の強化を図るため、提携保険3社との一層の連携強化により、50周年キャンペーンに積極的に取り組み、福利厚生制度の充実、推進を図っていく。

4. 本会の組織を充実し全国法人会総連合・新潟県法人会連合会と連携強化を図る事業

会員支援のために、異業種交流の一環として、会員間の情報交換や相互の親睦事業を行うほか、会員等に限定した研修会講習会などの事業を行う。

また、会員企業の経理業務に永年の功労があった者に対し、新潟法人会会長名により優良経理担当職員の表彰を行う。これらにより、一層の納税協力活動の推進者を育成するとともに、広く社会に納税の重要性を広報していく。

5. 本会の活動に関係する諸官公庁との連携を図る事業

新潟市に協力し、マイナンバーカードの普及活動を実施する。

6. その他、本会の目的達成に必要な事業

貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	36,662,328	35,006,913	1,655,415
現金	95,566	130,431	△ 34,865
普通預金	33,566,762	31,876,482	1,690,280
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
前払金	334,530	0	334,530
【流動資産合計】	36,996,858	35,006,913	1,989,945
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
【基本財産合計】	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,560,219	3,917,528	642,691
【特定資産合計】	4,560,219	3,917,528	642,691
(3) その他固定資産			
建物	16,864,821	17,881,795	△ 1,016,974
土地	43,913,266	43,913,266	0
電話加入権	72,800	72,800	0
保証金	50,000	50,000	0
【その他固定資産合計】	60,900,887	61,917,861	△ 1,016,974
【固定資産合計】	70,461,106	70,835,389	△ 374,283
【資産合計】	107,457,964	105,842,302	1,615,662
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	379,540	424,090	△ 44,550
【流動負債合計】	379,540	424,090	△ 44,550
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,560,219	3,917,528	642,691
【固定負債合計】	4,560,219	3,917,528	642,691
【負債合計】	4,939,759	4,341,618	598,141
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	0	0	0
2. 指定正味財産			
【指定正味財産合計】	0	0	0
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	102,518,205	101,500,684	1,017,521
【一般正味財産合計】	102,518,205	101,500,684	1,017,521
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
【正味財産合計】	102,518,205	101,500,684	1,017,521
【負債及び正味財産合計】	107,457,964	105,842,302	1,615,662

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(会員交流事業)	1,540,270	991,984	548,286	
会員交流費	1,540,270	991,984	548,286	
(会員の福利厚生への推進に関する事業)	349,232	60,786	288,446	
福利厚生事業費	349,232	60,786	288,446	
委員会費	0	0	0	
(管理費のうち事業費配賦額)	21,504,984	20,299,164	1,205,820	
役員報酬	2,104,050	2,081,640	22,410	
給料手当	10,427,300	10,269,122	158,178	
退職給付費用	871,356	503,962	367,394	
福利厚生費	2,060,995	2,044,851	16,144	
旅費交通費	279,112	27,972	251,140	
通信運搬費	97,115	94,645	2,470	
減価償却費	859,343	850,191	9,152	
消耗品費	914,675	691,753	222,922	
修繕費	52,982	51,682	1,300	
印刷製本費	109,681	70,350	39,331	
燃料費	31,470	22,725	8,745	
光熱水料費	375,098	344,949	30,149	
保険料	67,761	58,759	9,002	
租税公課	776,284	777,630	△ 1,346	
リース料	1,219,186	1,063,700	155,486	
事務所管理費	728,617	807,431	△ 78,814	
支払手数料	444,445	429,027	15,418	
雑費	85,514	108,775	△ 23,261	
管理費	7,797,233	7,977,909	△ 180,676	
役員報酬	385,950	408,360	△ 22,410	
給料手当	1,912,700	2,014,518	△ 101,818	
退職給付費用	159,835	98,863	60,972	
福利厚生費	378,053	401,143	△ 23,090	
旅費交通費	51,198	5,488	45,710	
通信運搬費	175,476	365,227	△ 189,751	
通信運搬費配賦	17,815	18,566	△ 751	
通信運搬費管理	157,661	346,661	△ 189,000	
減価償却費	157,631	166,783	△ 9,152	
消耗品費	167,780	135,704	32,076	
修繕費	9,718	10,138	△ 420	
印刷製本費	20,119	13,800	6,319	
燃料費	5,772	4,458	1,314	
光熱水料費	68,805	67,669	1,136	
保険料	12,429	11,526	903	
租税公課	142,396	152,550	△ 10,154	
リース料	223,638	208,668	14,970	
事務所管理費	133,651	158,397	△ 24,746	
支払手数料	81,526	84,163	△ 2,637	
会議費	2,192,954	2,151,240	41,714	
総会費	1,434,530	1,605,226	△ 170,696	
役員会費	680,684	414,765	265,919	
委員会費	800	16,200	△ 15,400	
その他会議費	76,940	115,049	△ 38,109	
諸会費	500,050	511,450	△ 11,400	県連、商工会議所他
渉外慶弔費	12,000	12,563	△ 563	
表彰費	8,800	30,000	△ 21,200	
委託費	91,067	53,863	37,204	
事務委託費	890,000	890,000	0	
雑費	15,685	21,338	△ 5,653	
経常費用計(B)	52,424,349	51,322,286	1,102,063	
当期経常増減額(A - B)	1,017,521	4,326,196	△ 3,308,675	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益				
固定資産受贈益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産除却損				
災害損失				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	1,017,521	4,326,196	△ 3,308,675	
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,017,521	4,326,196	△ 3,308,675	
一般正味財産期首残高	101,500,684	97,174,488	4,326,196	
一般正味財産期末残高	102,518,205	101,500,684	1,017,521	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	20,753,500	21,912,900	△ 1,159,400	
受取全法連助成金	20,753,500	21,912,900	△ 1,159,400	
一般正味財産への振替額	△ 20,753,500	△ 21,912,900	1,159,400	
一般正味財産への振替額	△ 20,753,500	△ 21,912,900	1,159,400	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	102,518,205	101,500,684	1,017,521	

[第1号議案]令和3年度 決算報告承認の件

令和3年度正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	164	500	△ 336	
基本財産受取利息	164	500	△ 336	
特定資産運用益	37	32	5	
特定資産受取利息	37	32	5	
受取会費	29,645,230	30,707,440	△ 1,062,210	
正会員受取会費	29,569,030	30,630,440	△ 1,061,410	
賛助会員受取会費	76,200	77,000	△ 800	
事業収益	1,035,000	1,149,500	△ 114,500	
会員親睦事業収益	411,000	462,500	△ 51,500	懇親会等会費収入
青年・女性部会事業収益	624,000	687,000	△ 63,000	青年・女性部会会費収入
受取補助金等	22,711,500	23,750,900	△ 1,039,400	
受取全法連助成金振替額	20,753,500	21,912,900	△ 1,159,400	助成金(A)
受取全法連助成金	350,000	370,000	△ 20,000	助成金(B)
受取全法連補助金	264,000	298,000	△ 34,000	会員増強支援(報奨金等)
受取県連補助金	1,344,000	1,170,000	174,000	
雑収益	49,939	40,110	9,829	
受取利息	739	710	29	
雑収益	49,200	39,400	9,800	
経常収益計(A)	53,441,870	55,648,482	△ 2,206,612	
(2) 経常費用				
事業費	44,627,116	43,344,377	1,282,739	
(税に関する研修会事業)	4,949,676	4,095,353	854,323	
会場費	186,356	30,250	156,106	
資料費	2,022,788	2,280,764	△ 257,976	
諸謝金	185,692	167,055	18,637	
印刷製本費	569,101	179,098	390,003	
委託費	1,655,385	1,017,512	637,873	
消耗品費	153,424	233,068	△ 79,644	
通信運搬費	176,930	187,606	△ 10,676	
委員会費	0	0	0	
(税法税務に関する教材作成配布事業)	3,045,910	2,548,521	497,389	
資料費	2,686,700	2,049,025	637,675	
委託費	359,210	499,496	△ 140,286	
(租税教育事業)	818,455	715,858	102,597	
旅費交通費	40,000	0	40,000	
印刷製本費	126,445	218,818	△ 92,373	
通信運搬費	11,165	5,577	5,588	
消耗品費	440,725	448,549	△ 7,824	
支払負担金	174,000	0	174,000	
委員会費	26,120	42,914	△ 16,794	
(税の広報事業)	499,248	500,128	△ 880	
委託費	395,191	337,494	57,697	
印刷製本費	0	29,700	△ 29,700	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
支払負担金	82,057	82,754	△ 697	
委員会費	0	28,180	△ 28,180	
(会報発行事業)	3,803,493	3,577,386	226,107	
会報作成費	2,888,996	2,811,050	77,946	
委員会費	8,160	0	8,160	
委託費	906,337	766,336	140,001	
(税制改正提言事業)	63,908	32,071	31,837	
調査研究費	51,758	23,431	28,327	
委員会費	12,150	8,640	3,510	
(地域社会経営支援研修事業)	3,992,502	5,101,070	△ 1,108,568	
会場費	418,135	571,545	△ 153,410	
資料費	1,064,640	1,571,091	△ 506,451	
諸謝金	1,348,665	1,568,464	△ 219,799	
印刷製本費	247,600	202,531	45,069	
委託費	687,265	823,561	△ 136,296	
消耗品費	152,252	194,462	△ 42,210	
通信運搬費	73,945	169,416	△ 95,471	
支払負担金	0	0	0	
(地域社会の経済経営に関する教材作成配布事業)	2,694,159	1,973,527	720,632	
資料費	2,546,500	1,475,925	1,070,575	
委託費	147,659	497,602	△ 349,943	
(地域社会貢献活動事業)	126,336	2,598,772	△ 2,472,436	
会場費	0	930,748	△ 930,748	
消耗品費	104,000	196,388	△ 92,388	
諸謝金	0	1,252,515	△ 1,252,515	
印刷製本費	0	50,820	△ 50,820	
委託費	0	96,869	△ 96,869	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
通信運搬費	336	19,432	△ 19,096	
委員会費	0	30,000	△ 30,000	
(組織基盤強化のための支援事業)	321,728	357,433	△ 35,705	
会員増強推進費	302,308	357,433	△ 55,125	
通信運搬費	0	0	0	
委員会費	19,420	0	19,420	
(会員支援事業)	917,215	492,324	424,891	
会員表彰事業費	907,495	436,995	470,500	
委員会費	9,720	55,329	△ 45,609	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(会員交流事業)	4,000,000	4,900,000	△ 900,000	
会員交流費	4,000,000	4,900,000	△ 900,000	
(会員の福利厚生制度推進に関する事業)	110,000	110,000	0	
福利厚生事業費	100,000	100,000	0	
委員会費	10,000	10,000	0	
(管理費のうち事業費配賦額)	23,437,636	21,522,758	1,914,878	
役員報酬	2,178,750	2,041,800	136,950	
給料手当	10,850,000	10,086,000	764,000	
退職給付費用	520,647	812,887	△ 292,240	
福利厚生費	2,143,750	1,968,000	175,750	
旅費交通費	1,662,500	1,148,000	514,500	
通信運搬費	376,250	164,000	212,250	
減価償却費	889,853	833,919	55,934	
消耗品費	743,750	697,000	46,750	
修繕費	43,750	41,000	2,750	
印刷製本費	131,250	147,600	△ 16,350	
燃料費	26,250	24,600	1,650	
光熱水料費	350,000	328,000	22,000	
保険料	70,166	57,634	12,532	
租税公課	803,845	753,318	50,527	固定資産税
リース料	1,308,125	1,115,200	192,925	
事務所管理費	770,000	738,000	32,000	
支払手数料	463,750	451,000	12,750	
雑費	105,000	114,800	△ 9,800	
管理費	7,047,283	8,734,556	△ 1,687,273	
役員報酬	311,250	448,200	△ 136,950	
給料手当	1,550,000	2,214,000	△ 664,000	
退職給付費用	74,378	178,438	△ 104,060	
福利厚生費	306,250	432,000	△ 125,750	
旅費交通費	237,500	252,000	△ 14,500	
通信運搬費	53,750	406,000	△ 352,250	
通信運搬費配賦	53,750	36,000	17,750	
通信運搬費管理	0	370,000	△ 370,000	
減価償却費	127,121	183,055	△ 55,934	
消耗品費	106,250	153,000	△ 46,750	
修繕費	6,250	9,000	△ 2,750	
印刷製本費	18,750	32,400	△ 13,650	
燃料費	3,750	5,400	△ 1,650	
光熱水料費	50,000	72,000	△ 22,000	
保険料	10,024	12,651	△ 2,627	
租税公課	114,835	165,362	△ 50,527	固定資産税
リース料	186,875	244,800	△ 57,925	
事務所管理費	110,000	162,000	△ 52,000	
支払手数料	66,250	99,000	△ 32,750	
会議費	2,170,000	2,090,000	80,000	
総会費	1,400,000	1,400,000	0	
役員会費	600,000	500,000	100,000	
委員会費	20,000	20,000	0	
その他会議費	150,000	170,000	△ 20,000	
諸会費	485,050	500,050	△ 15,000	県連、商工会議所他
渉外慶弔費	50,000	50,000	0	
表彰費	50,000	50,000	0	
委託費	54,000	60,000	△ 6,000	
事務委託費	890,000	890,000	0	
雑費	15,000	25,200	△ 10,200	
経常費用計(B)	56,191,919	57,146,314	△ 954,395	
当期経常増減額(A - B)	16,026	19,325	△ 3,299	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益				
固定資産受贈益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損				
固定資産除却損				
災害損失				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	16,026	19,325	△ 3,299	
法人税、住民税、および事業税	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	16,026	19,325	△ 3,299	
一般正味財産期首残高	102,518,205	102,498,880	19,325	
一般正味財産期末残高	102,534,231	102,518,205	16,026	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	20,822,200	20,753,500	68,700	
受取全法連助成金	20,822,200	20,753,500	68,700	
一般正味財産への振替額	△ 20,822,200	△ 20,753,500	△ 68,700	
一般正味財産への振替額	△ 20,822,200	△ 20,753,500	△ 68,700	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	102,534,231	102,518,205	16,026	

[理事会承認事項] 令和4年度 収支予算

令和4年度収支予算書(損益計算ベース)

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	100	500	△ 400	
基本財産受取利息	100	500	△ 400	
特定資産運用益	45	39	6	
特定資産受取利息	45	39	6	
受取会費	30,072,000	30,575,000	△ 503,000	
正会員受取会費	30,000,000	30,500,000	△ 500,000	
賛助会員受取会費	72,000	75,000	△ 3,000	
事業収益	3,633,000	3,666,000	△ 33,000	
会員親睦事業収益	3,000,000	3,000,000	0	懇親会等会費収入
青年・女性部会事業収益	633,000	666,000	△ 33,000	青年・女性部会会費収入
受取補助金等	22,402,200	22,623,500	△ 221,300	
受取全法連助成金振替額(A)	20,822,200	20,753,500	68,700	
受取全法連助成金(B)	350,000	350,000	0	
受取全法連補助金(B)	60,000	100,000	△ 40,000	会員増強支援
受取県法連補助金(B)	1,170,000	1,420,000	△ 250,000	
雑収益	100,600	300,600	△ 200,000	
受取利息	600	600	0	
雑収益	100,000	300,000	△ 200,000	
経常収益計(A)	56,207,945	57,165,639	△ 957,694	
(2) 経常費用				
事業費	49,144,636	48,411,758	732,878	
(税に関する研修会事業)	4,180,000	4,060,000	120,000	
会場費	150,000	200,000	△ 50,000	
資料費	1,500,000	1,800,000	△ 300,000	
諸謝金	300,000	100,000	200,000	
印刷製本費	400,000	250,000	150,000	
委託費	1,500,000	1,300,000	200,000	
消耗品費	150,000	200,000	△ 50,000	
通信運搬費	180,000	200,000	△ 20,000	
委員会費	0	10,000	△ 10,000	
(税法税務に関する教材作成配布事業)	2,600,000	2,600,000	0	
資料費	2,200,000	2,200,000	0	
委託費	400,000	400,000	0	
(租税教育事業)	1,205,000	1,217,000	△ 12,000	
旅費交通費	60,000	0	60,000	
印刷製本費	310,000	260,000	50,000	
通信運搬費	10,000	10,000	0	
消耗品費	600,000	600,000	0	
支払負担金	195,000	317,000	△ 122,000	
委員会費	30,000	30,000	0	
(税の広報事業)	335,000	475,000	△ 140,000	
委託費	200,000	300,000	△ 100,000	
印刷製本費	30,000	30,000	0	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
支払負担金	83,000	83,000	0	
委員会費	0	40,000	△ 40,000	
(会報発行事業)	3,240,000	3,100,000	140,000	
会報作成費	2,500,000	2,400,000	100,000	
委員会費	40,000	0	40,000	
委託費	700,000	700,000	0	
(税制改正提言事業)	100,000	100,000	0	
調査研究費	80,000	80,000	0	
委員会費	20,000	20,000	0	
(地域社会経営支援研修事業)	4,820,000	5,120,000	△ 300,000	
会場費	450,000	450,000	0	
資料費	1,300,000	1,400,000	△ 100,000	
諸謝金	1,750,000	1,750,000	0	
印刷製本費	350,000	350,000	0	
委託費	700,000	900,000	△ 200,000	
消耗品費	150,000	150,000	0	
通信運搬費	100,000	100,000	0	
支払負担金	20,000	20,000	0	
(地域社会の経済経営に関する教材作成配布事業)	1,800,000	1,800,000	0	
資料費	1,500,000	1,500,000	0	
委託費	300,000	300,000	0	
(地域社会貢献活動事業)	1,847,000	1,897,000	△ 50,000	
会場費	400,000	400,000	0	
消耗品費	300,000	300,000	0	
諸謝金	900,000	900,000	0	
印刷製本費	50,000	100,000	△ 50,000	
委託費	140,000	140,000	0	
新聞掲載費	22,000	22,000	0	
通信運搬費	15,000	15,000	0	
委員会費	20,000	20,000	0	
(組織基盤強化のための支援事業)	640,000	730,000	△ 90,000	
会員増強推進費	620,000	700,000	△ 80,000	
通信運搬費	0	20,000	△ 20,000	
委員会費	20,000	10,000	10,000	
(会員支援事業)	830,000	780,000	50,000	
会員表彰事業費	800,000	750,000	50,000	
委員会費	30,000	30,000	0	

役員名簿

令和4年6月

役員は非常勤（専務理事：常勤） は新任

【理事】

役名	氏名	法人名	役名	氏名	法人名	役名	氏名	法人名		
会長	永塚重松	第四ジェーシーピーカード(株)	理事	高橋英樹	茂興業(株)	理事	櫛谷努	クシヤ(株)		
副会長	高橋秀松	(株)高助	〃	外山洋史	(株)トカン	〃	田中陽子	(有)エイム		
〃	廣瀬徳男	(株)廣瀬	〃	本間健一郎	(株)江口屋	〃	樋口宏子	双峰通信工業(株)		
〃	佐藤春雄	(株)佐藤商会	〃	本間達郎	(株)本間組	〃	岡本健	(有)岡本酒店		
〃	関本喜代一	(株)関本製麺製粉工場	〃	小山修平	(株)当世館	〃	佐藤久栄	丸榮製粉(株)		
〃	皆川義雄	(株)皆川組	〃	村瀬昌志	(株)いりやまと	〃	鈴木壽男	(株)ススキ紙器		
常任理事	伊藤尚	(有)丸五商会	〃	平澤利明	昭栄産業(株)	〃	堤悦郎	(株)堤組		
〃	栗田浩	(株)栗田工務店	〃	綿井伸行	(株)新潟関屋自動車学校	〃	宗村勇二	(有)ムネケン		
〃	海津直矢	白根測量設計(株)	〃	津野芳彰	マイコロジーテクノ(株)	〃	篠澤貴徳	東邦実業(株)		
〃	横山山人	越後工業(株)	〃	吉田竹史	(株)吉運堂	〃	高口和則	(株)高口又四郎商店		
〃	柳沢茂	(株)第一印刷所	〃	金井利郎	金井度量衡(株)	専務理事	小田敏博	(公社)新潟法人会		
〃	齋藤昭三	(株)山市	〃	関本浩司	セキモト(株)	【監事】				
〃	伊藤正弘	(株)北辰鑑定リサーチ	〃	鈴木元近	(株)シグマネット	役名	氏名	法人名		
〃	廣田幹人	新潟総合警備保障(株)	〃	坪谷寛行	日本海不動産(株)	監事	田中一昭	(株)田中石油		
〃	本間彊	(株)丸屋本店	〃	山作奈穂子	(株)田商会	〃	梅川正志	木山産業(株)		
〃	野崎力夫	野崎印刷(株)	〃	川口栄介	富士タクシー(株)	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">監事 2名</td> <td style="width: 70%;"> 会長 1名 副会長 5名 常任理事 14名 理事 38名 専務理事 1名 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 59名 </td> </tr> </table> </div>			監事 2名	会長 1名 副会長 5名 常任理事 14名 理事 38名 専務理事 1名 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 59名
監事 2名	会長 1名 副会長 5名 常任理事 14名 理事 38名 専務理事 1名 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 59名									
〃	山口正人	(有)山口建築事務所	〃	後藤透	金清木材(株)					
〃	鈴木正二	(株)鈴木設計企画	〃	佐藤信久	(株)千代田設備					
〃	碓井勝尋	(株)フィール	〃	大杉一文	(株)オオスギテック					
〃	高橋尚子	(株)タカヨシ	〃	梶山美佐男	新潟通信機(株)					
理事	堀一	新潟県印刷工業組合	〃	鈴木智博	(株)鈴商					
〃	白井一止	(一社)新潟県自動車整備振興会	〃	堀川吉明	堀川建設(株)					
〃	蛭子克己	(株)新潟日報社	〃	村山栄一	大協リース(株)					
〃	福田勝之	(一社)新潟市建設業協会	〃	坂上隆行	(福)敬世会あがのこども園					

第10回（令和3年度） 税に関する絵はがきコンクール 受賞作品

子供達に税の事を知ってもらい、税金がどんな事に使われているか学んでもらう事を目的に開催しました。受賞作品をご紹介します。



〈銀賞〉 白山小学校
笠原彬生さん



〈金賞〉 葛塚東小学校
曾我篤哉さん



〈銅賞〉 横越小学校
泉あすかさん



〈新潟税務署長賞〉 白山小学校 宮崎桜子さん



〈新潟税務署長賞〉 亀田西小学校 佐藤麻織さん

新 署 長 ご 挨拶

新潟法人会の皆さん こんにちは！

新潟税務署長 あんどう 安藤 かずゆき 和之 氏



本年7月の人事異動により、関東信越国税局調査察部次長から新潟税務署長として着任しました安藤和之でございます。

私は新潟県出身で、令和元年の長岡税務署長以来3年ぶりの新潟県勤務となります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

公益社団法人新潟法人会の皆様には、日頃から税務行政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

貴法人会におかれましては「よき経営者を目指すものの団体」と

して税知識の普及や納税意識の高揚を図るための啓発活動に熱心に取り組まれ、申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な運営にとつて、欠くことのできない大きな役割を果たしておられると伺っております。

新型コロナウイルス感染症の影響、また、経済取引のデジタル化やグローバル化の進展により、私たちを取り巻く環境は、これまで以上に急速に変化しています。「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション」(令和3年6月公表)で示されたビジョンを実行するため、デジタルを活用した税務手続や業務のあり方に取り組みんでおります。

添付書類を含めたe-Tax及びマイナンバー制度が普及・定着していくことは、納税者の利便性向上のみならず、税務行政の効率化や将来像実現に不可欠です。で、法人会の皆様と連携・協力を図りこれまで以上に積極的に取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和5年10月から実施されるインボイス制度については、昨年10月から適格請求書発行事業者の登録申請の受付が開始されました。事業者が滞りなくその登録を行えるよう、周知・広報・相談に力を

入れてまいります。

また、本年3月には、「伝統的酒造り」がユネスコ無形文化遺産の候補として、ユネスコ事務局に提案されることになりました。

関東信越国税局では、「伝統的酒造り」のユネスコ無形文化遺産への登録の実現を目指し機運醸成に努めておりますので、ご協力をお願い申し上げます。

結びに当たり、公益社団法人新潟法人会の益々のご発展並びに会員の皆様のご健勝とご繁栄を心から祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。



前列 安藤和之署長、後列 左より宇鉄広一副署長、羽賀智信統括国税調査官、倉嶋三知上席国税調査官

新潟税務署人事異動(法人関係)

令和4年7月

〔転入〕

署長	安藤 和之	局調査査察部次長
副署長(法・酒)	宇鉄 広一	留任
総務課長	吉越里江子	局会計課長補佐
税務広報広聴官	澁谷 敬之	局調査査察部査察第三部門主査
特別国税調査官(法人)	小出 良友	川越署 特別国税調査官(法人)
特別国税調査官(法人)	蕎麦田 武	熊谷署 法人課税第一部門統括国税調査官
法人課税第一部門統括国税調査官	羽賀 智信	浦和署 消費税専門官
法人課税第三部門統括国税調査官	小松崎和義	川越署 法人課税第三部門上席国税調査官
法人課税第五部門統括国税調査官	土田 智	長岡署 法人課税第二部門統括国税調査官
情報技術専門官(法人)	佐藤 義之	前橋署 法人課税第三部門統括国税調査官
法人課税部門連絡調整官	齊藤 宏和	諏訪署 法人課税第一部門統括上席国税調査官

〔転出〕

局税務相談室相談官	藤崎 貴彦	総務課長
関東信越国税不服審判所審査官	星 喬志	総務課長補佐
三条署 法人課税部門上席国税調査官(再任用)	若杉 正志	特別国税調査官(法人)
高崎署 特別国税調査官(法人)	田中 克幸	特別国税調査官(法人)
川越署 特別国税調査官(法人)	工藤 達也	特別国税調査官(法人)
長岡署 法人課税第二部門統括国税調査官	長嶺 健一	法人課税第五部門統括国税調査官
大宮署 法人課税第四部門統括国税調査官	住吉 雅彰	法人課税第七部門統括国税調査官
長野署 情報技術専門官(法人)	伊藤 浩	情報技術専門官(法人)
川口署 法人課税第五部門統括国税調査官	佐藤 圭亮	法人課税部門連絡調整官

〔署内異動〕

総務課長補佐	荒井 宏高	酒類指導官部門統括上席国税調査官
法人課税第二部門統括国税調査官	野澤 奈美	税務広報広聴官
特別国税調査官(法人)	永吉 義幸	法人課税第一部門統括国税調査官
審理専門官(法人)	古川 信幸	法人課税第二部門統括国税調査官
法人課税第七部門統括国税調査官	桐生 直樹	審理専門官(法人)

〔退職〕

小林 君人	署長
内山 哲夫	法人課税第三部門統括国税調査官

シリーズ 人にいがた発見

このシリーズは新潟で活躍されている方々をご紹介します。

「ラジオを通して

新潟のことを

発信していきたいですね」

株式会社新潟放送 情報センターアナウンス部
アナウンサー 石塚 かおりさん



プロフィール

新潟市中央区出身
寄居中学校・新潟中央高等学校・日本大学芸術学部放送
学科卒業後1987年に株式会社新潟放送に入社、現在
はアナウンス部
2007年「佐渡観光親善大使」に就任。

〈過去の出演番組〉

- はればれワイド につこり大放送
- サタデーサウンドパラダイス
- 石塚かおりの午後の楽園
- ゆうなびラジオ
- 石塚かおりのゆうわく伝説
- 情熱にいがた

他 多数

〈現在の出演番組〉

- 石塚かおりのBrand new day
- サロン de かおり
- 他

—— 本日はBSN新潟放送アナウンサー、石塚かおりさんにお話を伺います。お生まれは新潟市で、高校まで新潟市とお聞きしましたが、

はい。大学は東京の日本大学芸術学部放送学科に進学しました。小学5年のときからラジオのパーソナリティになる夢があったからです。もちろん、紆余曲折があり、就職活動では全国各地の放送局を受けました。最終的に拾ってくれたのが、地元新潟でした。

—— 最初からアナウンサーだったのですか？

(テレビの)アナウンス部に入ると思ったのですが、配属はラジオ局でした。当時の私は、生意気にもラジオは終わりにかけているメディアだと思っていたので、アナウンサーにはなれたものの、悩みましたね。

—— 入社後はどんなお仕事をされたのですか？

実は私は4月7日から番組を担当することが決まっており、その為4月1日の入社式の一カ月ほど前から研修を受けていました。だから入社式の後、何も分からないままスタジオに入ったり、中継車に乗ったりという感じでした。それからはラジオを中心に、朝、午前、午後、夕方と全ての帯番組を経験しました。

—— 石塚さんにとってラジオという媒体の魅力は、どんなところですか？

良くも悪くも人の心にこれだけ深く入ることができる媒体というのはなかなかないと思います。ですからラジオ局のある放送局に入れて良かったと思っています。中越地震のときの事です。怖いと泣く幼ない娘を実家に預けてスタジオに向かったのですが、私は大切な人の傍にいられないアナウンサーという仕事はなんなのだろうと、切なくなっていました。そのとき一度だけです、辞めたいと思ったのは。でもその後、「真っ暗な中、ラジオからのいつも聴いている声に、一人じゃないと思えた」と言っていたとき、これこそが私の使命なんだと感じました。



—— これまでは、いろいろなお仕事をやって来られたわけですが。

仕事をやっていくうち、私に管理職の話が出てきました。歴代の上司からは、「君を管理職にしたいが、管理職になると番組を減らさなければならぬ。どうする？」と、何年間も言われ続けたのです。管理職になりたいと思ったことはないけど、ただの喋り手では会社の役に立たない。悩んだ末に、出した答えはどちらも頑張りたくない。管理職でありながら、番組もしっかりやっていきたいと思ってやってきましたね。

—— 普通はやらないわけですね。
先輩たちは管理職を全うされていましたが、私は二刀流というか、どちらも一生懸命やりたいという思いがあり、それを会社も認めてくれたわけです。昨年4月に番組に専念してい

「担当局次長」という管理職になり、この春からは役職定年でますます番組に専念させていただきます。

—— それで、昨年4月から毎週月曜に「石塚かおりのBrand new day」、金曜にもう一つの番組「サロンデかおり」を担当されることになったわけですね。

「石塚かおりのBrand new day」はデイリーの朝の生番組で、ニュースや天気予報などの情報を提供。「サロンデかおり」はいろいろな方をお招きして、ほかで話していないようなお話を聞き出すという、いつかやりたいと思っていた番組です。新潟県内の経営者の方々など様々なジャンルの方のお話を約30分伺えるというのは、私自身とてもためになります。



—— トーク番組で、相手の方の本音や人柄などを聞き出すために、心掛けていること、工夫されていることを教えてくださいませんか。
その方のお話を聞くわけなので、その方のことに興味を持たないといけない。だから話を聞く前に、会う方のことを知りた

いと思って、いろいろ下調べしています。それと、みなさんスタジオでは緊張されているので、録音が始まるまでの間に、どれだけ打ち解けることができるかだと思います。こちらからオープンマインドでいくための準備が、その方のことを勉強するということになるかもしれないと思います。

—— 今はラジオを中心にお仕事されていますが、テレビもやりたいなと思うことはあるのでしょうか。
ラジオで今やっていることを、そのままテレビでもやってみたいですね。例えば、いろいろな方のインタビューをテレビっぽくなく、ラジオのようにやってみたいですね。スタイルとしては今、やることが基本になって、それをテレビでやれたら面白いかもしれないな。

—— ゴルフコンペや佐渡ツアーなどのイベント関係もやられていて、とても忙しい石塚さんですが、休日はあるのですか？
土・日曜は基本的にお休みです。土曜の午前中が大好きで、午前中はパンケーキを焼いたり凝った料理を作ったり、好きな家事をやるので楽しくてしょうがないです。それ以降は、あちこちに出かけたりします。ドライブも好きで、よくシーサイド



—— これから、どういう形でお仕事に携わってみたいと考えていらっしゃいますか？
やはりラジオという媒体を通して、いろいろな人とつながっていきたくいですね。しかも、その人たちのことを発信していく役目を担い、それを聞いてくださる人を鼓舞できるような仕事を、続けていきたいなと思っています。

—— これからもご活躍を楽しみにしております。本日はいろいろな話をお聞かせいただき、ありがとうございました。
—— これからもご活躍を楽しみにしております。本日はいろいろな話をお聞かせいただき、ありがとうございました。

随想

夕やけこやけ



にいがた散歩



新潟法人会
専務理事
小田 敏博

6月の新潟法人会総会で専務理事を拝命いたしました、小田敏博と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて、自己紹介しますと、私自身は新潟市の下町、新潟島の信濃川河口流域で所謂「しも」に生れ、学生時代の一期を東京で過ごしましたが、就職後は新潟県内で勤務が続きました。これまで新潟の住みやすさや自然の豊かさなどを実感していますが、生まれ故郷「しも」の人口減少が顕著で、空き家の増加や商店の閉店など寂れていくのをとても残念に思っています。そのような中、時折、下町エリアの歴史を振り返りながら、旧市街地や海岸沿いなどを

気ままに歩いて、かつての賑わいに思いをはせています。

また、今までの不摂生がたたり、いくつかの生活習慣病を患った身体のため、生活を改善し、健康寿命を如何にして伸ばしていくかが大きな課題となつていきます。そのため、普段の生活では極力歩くように努め、週末には、新潟市近郊の里山ウォーキングにより歩数を稼いでいます。里山歩きでは角田山主要7ルート、弥彦山、護摩堂山を含む新津丘陵などを主なコースとして巡り、新潟平野の展望や山に咲く花、木々の色づきなどを楽しみながら健康維持を図っているのですが、根本的な改善には至っていないのが現状です。里山歩きの後は、近隣の温泉などで汗を流すのもまたいいものです。

街散策での新たな魅力の発見や里山の四季折々の変化に触れ合うことを通じて、新潟の良さを感じながら、地元企業の発展、地域の振興のために活動して行きたいと思っています。

編 集 後 記

あつという間に梅雨が終わり、猛暑の季節になりました。コロナ感染対策と熱中症対策をしつつですが夏バテしそうです。今回の人いながた発見は、新潟の魅力、良さを日本のみならず世界に発信していきたいとご活躍されている石塚かおりさんです。インタビュー中も笑顔絶やさず、質問に真摯に向かい合う姿が素敵でした。ラジオの仕事が本当にお好きなんだなと感じました。

新潟に住み始めてもう三十年以上たつのにまだに行つたことのない場所、有名な郷土料理や風習などがあり新潟って広いな、と思っております。いろいろな情報の発信がありますが、運転中はラジオからの情報も結構有意義です。偶然行き先がその場所であったり、近くにあつて寄り切り割とタイムリーなこと多いんです。知らないことを教えてもらおうという機会は自分の生活が楽しくなっていく気がします。ちなみにこの間、佐渡に行き北沢浮遊選鉱跡と鬼百合の海岸と連れて行ってもらったとある入り江がとてもよかったです。

広報委員 樋口 宏子

優良経理担当職員表彰を実施いたします!!

会員企業の経営者の皆様から候補者を、是非ご推薦下さい。

優良経理職員をご推薦いただき、選考を経て、表彰式を実施しております。

詳細は別送の『優良経理担当職員表彰者のご推薦依頼』をご覧ください。なお、表彰式の開催は10月下旬を予定しております。



昨年の表彰式の様子